

第17回 本番直前！ 集団面接対策講座

日時：2020年2月26日（火）

10：15～12：00 / 13：00～18：00

*全4グループ×90分（各コース定員10名）

場所：文学部B201講義室

【講座の概要】

今年度の最終回である第16回のリテラアワー講座は、3月から就職活動本番に臨む全学部の学生を対象に、集団面接対策講座を実施しました。当日は、文学研究科、文学部以外にも総科、経済、教育、工学、生生の各学部・大学院、更に留学生の参加もあり、バラエティーに富んだメンバー構成となりました。

参加者計30名が4コースにわかれ、各コース90分で、模擬面接と面接観察、フィードバックを行います。実際の模擬面接の方法は、各コースとも学生を半分にわけ、一方のグループが先に面接受験者となり、もう一方のグループがオブザーバーとして面接学生を評価するというものです。また、面接官は、マイナビのキャリアサポーターである北濱さんが担当され、臨場感あふれる面接場面となりました。

まず北濱さんから入退室時のマナーの実演と指導が行われ、模擬面接がスタートしました。最初に学生が順番に「自己PR」を1分程度で行い、一人ひとりに面接官がさらに追加質問をしていきました。

追加質問では、
「先ほどの自己PRが他の場面で発揮された経験は？」
「その経験の中での取り組みをもう少し具体的に話してください」
「なぜ、その活動をしようと思ったのか？」
「そのPRは（あなたが希望している）〇〇業界にどのように活かしていけますか？」
「企業選びの軸としていることは？」
「最近気になるニュースは？」
「他の人からどんな人って言われる？」
など視点を変えた質問も出され、学生側は研究やクラブ活動など事例を挙げながら応答していきました。質問が全て終わると、全員が椅子から立ち、挨拶をして退出し、面接の一連の流れを終えました。

その後、以下のようなフィードバックが面接官からありました。

【態度・印象について】

- ・集団面接では、他の受験者が質問をされている最中も、自分のことに集中しすぎないようにする。他の受験者が応答した内容に対して、意見を求められる場合もあるため、自分が質問を受けていない時でも、他者への関心を示す態度をすること。
- ・声が大きくハキハキ話す学生は、それだけでも印象に残る。
- ・面接官と目線を合わせることを意識する。
- ・面接会場の入り口、控室、入退室場面など様々なところで、関係者からのチェックが入っていることを意識して行動すること。
- ・「1分程度で話してください」という指示があれば、時間を意識して伝えること。

【内容について】

- ・体験内容（エピソード）を伝える場合、先ずはその場面について簡潔に、そして初めてその内容を聞く人にもイメージしやすい説明をすること。
- ・「企業選びの軸」は自分の経験と結び付けて伝えると、納得感を得られる。
- ・「自己PR」は、自分の行きたい業界や就きたい職種を想定し、そこで最大の成果・

結果に繋がっていけるものであるかどうかを検討する。仕事にどう活かしていきたいかという点も考えておく

- ・「地元で働きたい」と志望動機に盛り込む際は、地元の企業の中でもなぜその会社なのかを明確に伝えられるようにすること

今回の面接官とオブザーバーからは多くのフィードバックがあり、面接を受けた学生さんは様々な点から今後の課題を得られたようです。また、面接場面の臨場感も味わうことができ、練習や場慣れの必要性も強く感じたようでした。本番がいよいよスタートしました。しっかり自分をアピールしていきましょう。

【集団面接体験学生の感想】

- 「個別のフィードバックがかなり具体的でたくさんもらった」
- 「実際に集団面接を体験できたことが良かった」
- 「実際の面接の緊張感を味わえたことが良かった」
- 「自己分析が足りていないことや、気付かないしぐさ、癖などを知ることができた」

【参加者】

学部大学院生30名 教職員1名

